



## 自分にできることは

中島 美佑音

私は、タイでの研修で国際協力の意味を考えたり、障害者への支援やバンコク都市鉄道の敷設・運営という観点から実際の国際協力の現場を視察したりした。そして、JICA を含めこのような場所で働く人々やタイの学生、現地のガイドさんなど本当にたくさんのお会いがあった。研修での経験で私が最も伝えたいことは、国際協力にはいろいろな関わり方があること、いろいろな方向からアプローチができるということだ。私は幼い頃から教師になるのが夢で、現在、大学では教師になるための勉強をしている。国際協力の第一線で活躍する人々を見て、教師を目指す自分には子どもたちに広い視野を持ってもらうきっかけや、世界や国際協力について考えてもらう機会を作ることができるのではないかと考えた。実際、私も中学生の時にこのエッセイコンテストに応募したが、コンテストを知るきっかけは学校だったし、エッセイに書いた体験談は学校で行った活動のことだった。

中学生の時に書いたエッセイの題名は、『「知ること」から始めよう』だった。「知ること」から始まり、大学生となった今ではこの研修を通して自分にできることを見つけた。これからもいろいろなことに目を向け、大学 4 年間でたくさんの経験をし、視野の広い人間性の豊かな教師になりたい。そして、自分にできることを実践していこうと思った。